

10月25日に今年度4件目の事故（傷害事故）が発生しました。
早朝、スーパーの検品作業に向かう就業途上で道路の凹凸につまずいて転倒し、顔や手、足を負傷したものです。

この事故により、連続無事故記録は76日間でストップしました。

現在、令和4年度の事故件数は、傷害事故3件、賠償事故1件の計4件です。

今年も残すところあとひと月です。師走ということで何かと気ぜわしいこととは思いますが、安全は全てに優先します。事故を起こさない、事故に巻き込まれないように注意して就業に努めましょう。

連続無事故記録



現在36日間

♠ ♡ 安全就業のポスター募集 ◇ ♣

安全就業推進委員会では、安全就業を啓発するポスターを募集します

これまで安全就業推進委員会では、隔年で安全就業を啓発する「標語」を募集してきましたが、今回は次のとおり安全就業を啓発する「ポスター」を募集します。

テーマ	安全就業
規格	A3サイズ（297ミリメートル×420ミリメートル）
作成方法	手書き、パソコン作成等
応募方法	会員1人1点限り（オリジナル作品に限る）
応募期間	令和4年12月12日（月）から令和5年1月13日（金）までの間に直接センターまでお持ちください。

冬の転倒に注意！

冬は凍結や雪で道路がすべりやすくなります。
就業中や行き帰りの際にはいつも以上に注意し、
時間に余裕をもった行動を心がけましょう。



転倒予防のチェックポイント

- ・滑りやすい、つまずきやすい履き物で就業していませんか。
- ・作業に集中し過ぎて、足元や周囲への安全確認が「おろそか」になっていませんか。
- ・後方を確認しないで、後ずさりや後ろ歩きをしていませんか。
- ・約束の時間に遅れるとの「あせり」から、行うべき安全確認を省略していませんか。
- ・雨の日やその翌日は、濡れた路面や横断歩道、マンホールのふたなどに注意していますか。
- ・夕暮れや薄暗い場所では、足元の障害物や段差の「つまずき」に注意していますか。

インフルエンザに注意しましょう

新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中、この冬に向けて季節性インフルエンザの同時流行も懸念されています。

低温で空気の乾燥する季節は、風邪やインフルエンザにかかる人が増えます。

予防には、適度な運動、十分な栄養と休養で体の抵抗力を高めると同時に、原因となるウイルスの体内への侵入をできる限り防ぐことが大切です。

また、インフルエンザは通常の風邪のようにのどの痛み、鼻水、咳などの症状がありますが、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く現れるのが特徴です。高齢の方や種々の慢性疾患を持つ方は肺炎を伴うなど重症化することがあります。

インフルエンザが疑われる症状が出たら、すぐに医師の診察を受けるなど早めに適切な措置をとることが重要です。

インフルエンザの予防について

インフルエンザを予防する有効な方法としては、以下のことが挙げられます。



1 外出後の手洗いなど

流水、石鹸による手洗いなどは、手指など体についたウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触感染を感染経路とする感染症対策の基本です。

2 飛沫感染対策としての咳エチケット

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。したがって、飛沫を浴びないようにすればインフルエンザに感染する機会は大きく減少します。

しかし、家族や日ごろから親しくしている人などの日常的に一緒にいる機会が多いもの同士での飛沫感染を防ぐことは難しいものがあります。

したがって、インフルエンザの飛沫感染対策としては、

- (1) 普段から咳エチケットを行うことや、くしゃみを人に向けて発しないこと
- (2) 咳やくしゃみが出る時は、マスクをすること
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時は、すぐに手を洗うことなどを守ることを心がけてください。

3 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、感染後に発病する可能性を低減させる効果とインフルエンザに感染した場合の重症化防止に有効とされています。